

平成19年9月26日

各位

三井住友銀リース株式会社

『ISO14001』の取得に関する件

三井住友銀リース株式会社(社長 石田浩二)は、東京本社ビルについて、国際標準化機構の環境マネジメント規格『ISO14001』の認証を取得致しましたので、お知らせ致します。

記

1. 要 旨

三井住友銀リース(以下、SMLC)は、環境配慮型設備・機器のリースやリース期間満了物件のリユース、リサイクル等、環境保全への対応を重要な経営課題と認識しており、平成15年6月に「環境方針」を制定し、環境負荷軽減・環境リスク対応・環境ビジネス推進等に取り組んでおります。

今般、三井住友フィナンシャルグループ(以下、SMFG)が国内メガバンクグループ持株会社として初めて『ISO14001(*)』の認証を取得するにあたり、SMLCも東京本社ビルを対象拠点の一つとしてPDCAサイクルの活動を推進して参りましたが、本日以下の登録証が交付されましたので、お知らせ致します。

【認証機関】財団法人日本品質保証機構(JQA)

【登録組織】三井住友フィナンシャルグループ

【対象拠点】三井住友銀リース 東京本社ビル
三井住友銀行 4本部ビル
(本店・大手町本部・大阪本店・神戸本部)

三井住友カード 大阪本社ビル

SMBCFレンド証券 本社ビル

(*)ISOは国際標準化機構(International Organization for Standardization)のことであり、各国の代表的な標準化機関で構成される国際機関。このうち、ISO14001は、組織の活動や製品・サービスが直接的・間接的に与える著しい環境影響や環境リスクを低減し、且つ発生を予防するための環境マネジメントシステムを規定した国際規格。

2. 環境関連活動

SMLCの主な環境関連活動は、下表の通りです。

今般の『ISO14001』の認証取得を機に、社内における環境教育の充実・環境関連知識の浸透、SMFGとの一層の連携強化等を図り、お客さまとともに環境問題の解決に取り組んで参ります。

項目	活動内容
環境負荷軽減	排出権取得による東京本社ビル排出温室効果ガスの相殺 クールビズ導入による電力使用量の削減、擬音装置設置による水道使用量の削減、書類電子化による紙使用量の削減 什器・備品のグリーン購入対象品への切り替え 自主的且つ継続的な地域清掃活動の実施(大阪本社)
環境リスク対応	「リースアップ エコタウン」の運営等による、環境3R<リユース・リデュース・リサイクル>の推進 全国規模での引揚げ・処分ルートの構築、電子マニフェストによる適正処理確認体制の構築、中間処理業者の定期的査定等による不法投棄・不測事態の回避
環境ビジネス推進	排出権付きリース『カーボンニュートラルリース』の開発・推進 ESCO事業者との提携による『省エネ支援サービス』『環境貢献型設備リース』の推進 業績評価制度「注力商品拡販項目」への指定による『環境関連機器リース』の全社的推進
(SMFGとの連携)	環境情報誌「SAFE」の発行(平成8年～) 環境セミナーの開催(年1回) ディスクロージャー誌、CSRレポート等による情報開示 社内ボランティアのビーチクリーンへの参加 書き損じはがきの回収・寄附

なお、当社は平成19年10月1日に住商リース株式会社(以下、SCL)と合併致しますが、現SCL拠点は住友商事グループの枠組み(マルチサイトシステム)において『ISO14001』を取得済でございます。

以 上

<お問い合わせ先>

企画部 須 長

TEL 03(5404)2301